

このまちの、魅力とくらしを語り合っています

第5期宮前区区民会議 第5回会議

日時 平成27年5月29日(金)18:15～20:00 (開場 18:00)

会場 宮前区役所 4階 大会議室

次 第

1 開会あいさつ

2 議事

- (1) みやまえ区民会議フォーラム2015 開催結果報告 ▶川田副委員長
- (2) 今年度のおもなスケジュール ▶佐々木副委員長
- (3) 審議経過報告① 誰もがくらしやすいまちをめざす部会 ▶川畑部会長
- (4) 審議経過報告② みやまえ魅力探訪部会 ▶青柳部会長
- (5) 部会審議内容についての意見交換・質疑応答
- (6) その他

3 その他の連絡事項

資料もくじ

座席表 ▶P3

第5期宮前区区民会議 委員名簿 ▶P4

1 みやまえ区民会議フォーラム2015 開催報告 ▶P5

2 今年度のおもなスケジュール ▶P11

3 審議経過報告① 誰もがくらしやすいまちをめざす部会 ▶P13

4 審議経過報告② みやまえ魅力探訪部会 ▶P17



Information

みやまえ区民会議ホームページをご覧ください

第1期～第4期の活動内容や提案、各種資料などがご覧いただけます。
また、第5期の1年目（平成26年度）の主な活動内容も掲載しています。

川崎市ホームページ ▶ 宮前区ホームページ ▶ 宮前区区民会議

検索サイトから、 で



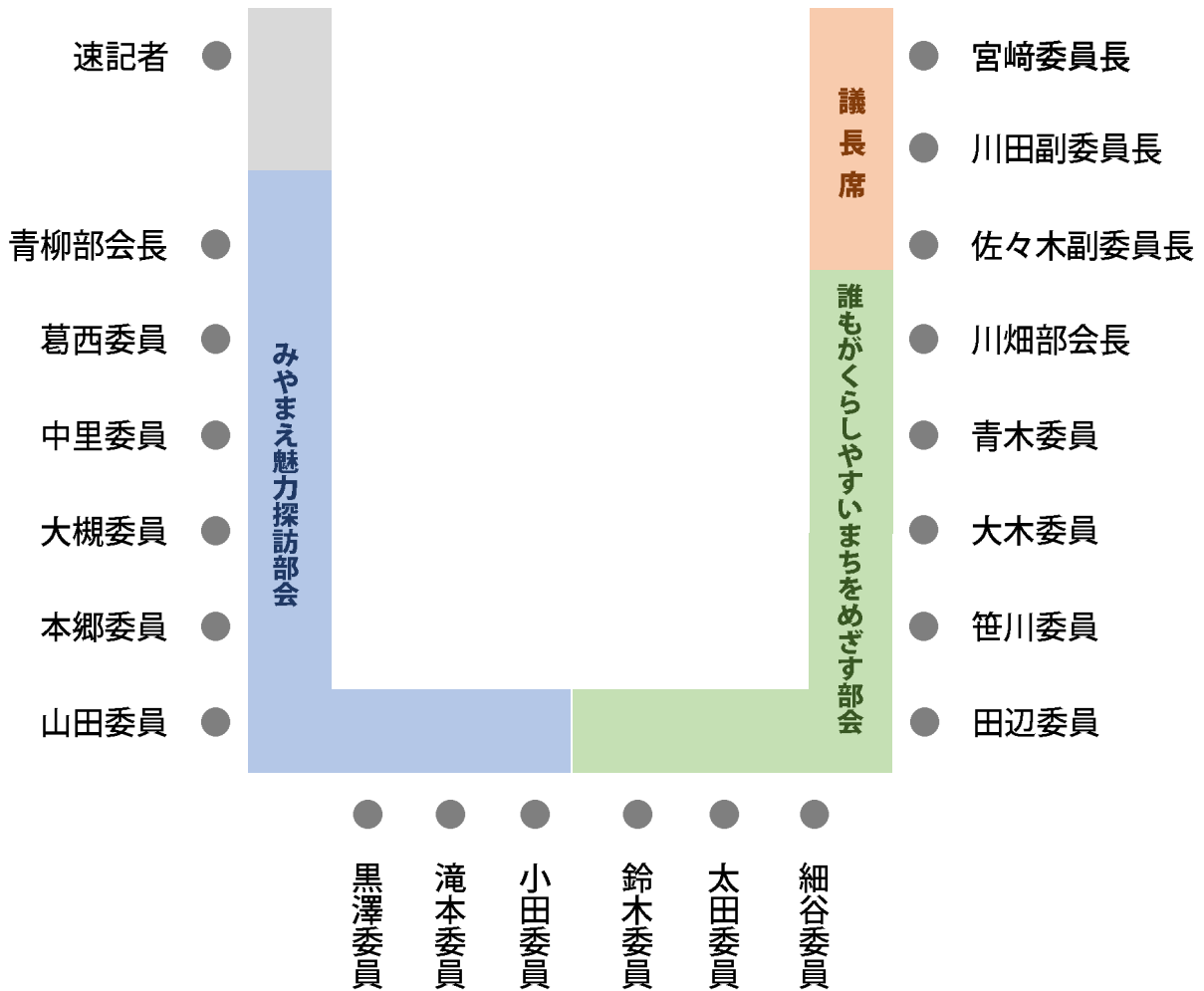
みやまえ区民会議2014-2015 中間報告書が完成しました

第5期1年目の活動を集約した「中間報告書」を作成しました。
これまで開催した全体会、各専門部会、企画部会の審議内容を詳細に記載しています。
写真や図を多く使って、活動の経過などをわかりやすくまとめました。
冊子の配布はしていませんが、ホームページでPDF版をご覧いただくことができます。



第5回会議 座席表

スクリーン



事務局		事務局		参 与	
●安河内 企画課 担当係長	●小山 企画課 担当係長	●秋山 企画課長	●野本 宮前区長	●竹花 副区長	● ● ●
事務局		事務局		参 与	
●折原 区民サービス部長	●堤 向丘出張所長	●益子 保健福祉 センター所長	●池田 保健福祉 センター副所長	● ● ●	
事務局		事務局		参 与	
●杉山 こども支援室長	●田村 道路公園センター所長	●山田 市民館長	●福嶺 総務課長	● ● ●	

※テーブルの配置等は実際の会場レイアウトと異なる場合があります

第5期宮前区区民会議委員名簿

くらし 誰もがくらしやすいまちをめざす部会
 魅力 みやまえ魅力探訪部会
 企画 企画部会

	氏名		選出区分	推薦団体
副委員長	カワダ カスコ 川田 和子	くらし 企画	団体推薦	宮前区自主防災組織連絡協議会
	アオキ トラジ 青木 寅治	くらし	団体推薦	社会福祉法人宮前区社会福祉協議会
	オオキ ジロウ 大木 次郎	くらし	団体推薦	宮前区スポーツ推進委員会
	カサイ イクコ 葛西 育子	魅力	団体推薦	宮前区子ども・子育てネットワーク会議
	ナカザト フミオ 中里 文雄	魅力	団体推薦	宮前区民生委員・児童委員協議会
	オオツキ ミキオ 大槻 幹雄	魅力	団体推薦	宮前区地域教育会議
	ホンゴウ カズオ 本郷 一雄	魅力	団体推薦	グリーンフォーラム21みやまえ世話人会
委員長	ミヤザキ タカシ 宮崎 孝	企画	団体推薦	宮前区商店街連合会
	ササガワ ススム 笹川 進	くらし	団体推薦	宮前区文化協会
	ヤマダ カツラ 山田 桂	魅力	団体推薦	宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）
	クロサワ カツミ 黒澤 克實	魅力	団体推薦	宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）
	タナベ ヨウイチロウ 田辺 洋一郎	くらし	団体推薦	宮前区まちづくり協議会
	ホソヤ アヤコ 細谷 章子	くらし	団体推薦	宮前区まちづくり協議会
	タキモト クミ 滝本 久美	魅力	団体推薦	みやまえ情報ラボ
部会長	カワバタ タクトシ 川畑 武敏	くらし 企画	公募	
部会長	アオヤギ カズミ 青柳 和美	魅力 企画	公募	
	オオタ キミコ 太田 公子	くらし	区長推薦	
副委員長	ササキ リョウジ 佐々木 良司	魅力 企画	区長推薦	
	スズキ ハルオ 鈴木 晴夫	くらし	区長推薦	
	オダ イクコ 小田 育子	魅力	区長推薦	

参 与 *五十音順・敬称略・平成27年5月3日現在

市議会議員	浅野 文直	石川 建二	石田 康博	織田 勝久	添田 勝
	田村 伸一郎	矢沢 孝雄	山田 晴彦	渡辺 あつ子	
県議会議員	飯田 満	佐々木 由美子	持田 文男		

事務局

宮前区長	野本 紀子	副区長	竹花 満	総務課長	福嶺 傑
企画課長	秋山 敏之	区民サービス部長	折原 綾子	向丘出張所長	堤 健一郎
保健福祉センター所長	益子 まり	保健福祉センター副所長	池田 稔郎	こども支援室長	杉山 俊成
道路公園センター所長	田村 考司	宮前市民館長	山田 友之		
企画課企画調整担当係長	小山 貴志	企画課まちづくり支援担当係長	安河内 豪太郎		

1 みやまえ区民会議フォーラム2015開催結果報告

このまちの 魅力とくらしを 語り合うフォーラム

(1) 企画の概要

宮前区区民会議では、地域の皆さんに①審議調査活動を報告すること、②「区民会議」をもっと知っていただくこと、③区民会議の取り組みに意見をいただき、参加していただくこと、の主に3つの目的で、「区民会議フォーラム」を毎年、年度末に開催しています。

今年度は、各専門部会での審議が始まったばかりで、具体的な取り組みの方向をこれから決めていくところであるため、特に③の目的に重点をおいて開催することを、第3回・第4回全体会議で決定しました。

企画の内容を決めるために、企画部会1回、拡大版企画会議を2回開催し、この他に有志による開催直前打ち合わせ会も開催、入念に議論を交わしました。その結果、次のような企画を決定、開催しました。



開催日：平成27年3月15日（日）

①みやまえ魅力探訪ツアー（路線バスミニツアー／各地現地ガイドつき）10:00～14:00

まちの魅力を語るためのネタ探し。地域資源の魅力を直接体験、理解を深めるツアー

Aコース：影向寺・橘樹郡衙跡～甘納豆駿河屋～南野川ふれあいの森（昼食）～区役所

Bコース：水沢の森～平瀬川～とんもり谷戸（昼食）～区役所

②語り合いカフェ（区役所4階大会議室） 13:00～15:00

お茶やお菓子のおもてなし、気軽に和やかなカフェの雰囲気、語り合う場

13:30～14:00は話題提供として、地域支え合いに関するミニ講演、事例紹介映像放映を実施

14:00過ぎから、後方でツアー写真スライドショーを投影

③区民会議フォーラム全体会（区役所4階大会議室） 15:15～15:45

第5期宮前区区民会議審議経過報告 質疑・意見交換

④その他の企画

スペシャルパフォーマンス 区内在住中学生による二胡の演奏 15:00～15:15（休憩時間中）

会場展示 カフェ周辺等で関連テーマや区内資源の展示

宮前特産弁当の提供（ツアー参加者、スタッフ）

(2) みやまえ魅力探訪ツアー

委員が「路線バス途中下車の旅」の試行実施等を通じて触れ、感じた宮前の魅力的な地域資源を参加者に体験していただくツアーとして2コースで企画しました。

各コース、区民会議委員がコースリーダーをつとめ、コース案内や時間管理等を行った他、各地の資源では関係者にガイド（案内・解説）をお願いしました。

みやまえ魅力探訪ツアー Aコース

影向寺前集合

▶影向寺…ガイド：加藤住職

県内屈指の古刹を住職自らの案内で見学。通常は見ることのできない薬師堂の内部等も案内していただきました

「影向寺の薬師堂に入れて感動しました!!」「住職からお話しをいただき、大変有意義でした」

▶橘樹郡衙跡…ガイド：宮前観光ガイドの会・宮前の歴史を学ぶ会のみなさん

奈良・平安時代の武蔵国橘樹郡の役所跡一帯を観光ガイドの案内で見学しました

「郡衙の建物を再現保存し、市民のいこいの場にしてもらいたい」



▶甘納豆の駿河屋…ガイド：女将 瀬戸さん

定休日の店内・工場内を特別に見学。甘納豆の由来等、女将の瀬戸さんに説明いただきました

バス 鷺02 鷺沼駅行き 能満寺→稲荷坂

▶南野川ふれあいの森（南野川緑地保全地区）…ガイド：野川はあも 伊藤さん

里山自然の保全や観察、子どもたちの自然学習支援などの活動をしている伊藤さんにお話しを伺いました

「自然が残っていてとても楽しかった。ぜひいつまでも残してほしい」



バス 鷺02 鷺沼駅行き 稲荷坂→鷺沼駅（乗り換え） 鷺11 宮崎台駅行き 鷺沼駅→土橋

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

みやまえ魅力探訪ツアー Bコース

水沢の森 高台広場集合

▶水沢の森（菅生緑地西地区・宮前区市民健康の森）…ガイド：水沢森人の会 水野さん・佐藤さん

緑地の案内だけでなく、活動団体の定例の里山活動の現場も見学しました

「手入れされて人が集まれる里山がこれほどあるとは知りませんでした」「水源地が印象的だった」

▶平瀬川流域・徒歩散策…ガイド：平瀬川流域まちづくり協議会 松井さん

平瀬川流域を歩きながら、親水空間やまちづくりのお話を伺いました



バス 溝17 溝口駅南口行き 蔵敷→初山

▶とんもり谷戸

ホタルが生息するせせらぎや周辺の緑地、植物等を案内いただきました

「入口付近は知っていましたが、中にはすてきな森ができていて発見!!」



バス 溝18 溝口駅南口行き 初山→向丘出張所

（乗り換え） 溝15 宮前区役所前行き 向丘出張所→宮前区役所前

▶宮前区役所 フォーラム会場に合流

宮前特産弁当（協力：デリスタ スエヒロ）

宮前地場産野菜、第5回みやまえC級グルメコンテストグランプリ受賞メニュー「野菜まん菜ベジローフ」を盛り込んだ、この日のための特製おにぎり弁当をツアー参加者・協力者・スタッフでいただきました。



おしながき

一、ふきみそおにぎりと菜の花おにぎり

一、大根と手羽中の煮物

一、野菜まん菜ベジローフ

一、ほうれん草入り卵焼き

一、ブロッコリーとジャガイモのコロッケ

※野菜はほぼすべて地元産を使用

(3) 語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」

区役所の大会議室が手作りの飾り付け等で、居心地の良いカフェに早変わり。来場者を温かい飲み物やお菓子でおもてなし、このまちの魅力やくらしについて語り合う場を設けました。区民会議委員一人一人が各テーブルで地域の方々をお迎えし、いただいたお話しやご意見を記録しました。

最終的にはスタッフも合わせて、約60名もの方にお越しいただき、各テーブルの会話も盛り上がり、大変賑やかな場となりました。

会場周辺には区民会議委員が所属する団体や今回のフォーラムに協力いただいた市民活動団体の紹介資料や、区民会議のこれまでの取り組みなどの資料も展示しました。

語り合いカフェ「このまちの魅力とくらし」 宮前区役所4階大会議室 13:00～15:00

13:00開場 「語り合いカフェ」開店

13:30開会 川田副委員長あいさつ

▶お茶菓子の提供

6人～8人がけのテーブルに手作りの折り紙のお花などで飾り付け、飴やチョコレート、御煎餅などのお菓子をを用意しました。飲み物は注文制でボランティアが用意し、各テーブルにお届けしました。

また、参加者には受付で「宮前名物のおやつ」引換券を一人1枚配布、宮前ロールと抹茶&ココア甘納豆などが提供されました（引換は14:00過ぎから開始）



▶話題提供：地域支え合い

ミニ講演「地域包括ケアについて」…レストア川崎地域包括支援センター看護師 吉川佐織さん
事例紹介VTR①土橋カフェ NHK番組 「認知症わたしたちにできること」より

事例紹介VTR②横浜市栄区公田町団地 NPOお互いさまねっと公田町と交流サロンいこい

▶話題提供：宮前区の地域の魅力

みやまえ魅力探訪ツアー 写真スライドショー（会議室後方で投影）



テーブルでの語り合い記録から（一部抜粋）

■誰もがぐらしやすい地域、地域包括ケア、地域の支え合い、などについて

- ・稗原団地は戸建て団地で、初期の入居者の方々が一斉に高齢化している、独居の人も多い
- ・認知症の方の見守りは容易でない。何か地域で組織的にできれば良い
- ・認知症の理解を広めることも重要。家族が見抜けないこともある
- ・マンション生活は隣人との関係が希薄
- ・高齢者以外にも、障がい者やシングルマザーなど困窮者はいる。皆が自分の問題として取り組む
- ・地域包括支援センターが充分地域に知れ渡っていない。もっと外に出て行ってほしい
- ・若い世代の人も役割を持たせることで、イベントなどへの参加率が高くなる
- ・他の団体と一緒に活動することで、子育てサロン活動への参加率が上がっている
- ・土橋カフェは、地域ケア会議の場で要望が出たことがきっかけで誕生した
- ・カフェの設置には場所の確保が第一
- ・団地で防災訓練を積極的にやっている、訓練を通じて要支援の人も把握できてくる
- ・他の人と肩肘はらない交流の場があることが必要。規模は小さくても良い
- ・神木町会の「コーヒーの会」には毎回40~50人が参加している
- ・あいさつ運動と一緒に、町内会・自治会が見守り等してはどうか



■宮前区の地域の魅力・資源、そのアピール、プロデュース方法、などについて

- ・資源への交通アクセス改善も課題、総合的な地区計画が重要
- ・道順等を示す「標識」や資源を解説する「看板」をもっと設置する必要がある
- ・看板のスポンサーを募る。企業名や出資者の名前を入れても良い。実行委員会をつくって管理する
- ・観光ボランティアの充実が必要。ガイドブックも改訂する（既存のものは使いにくい？）
- ・影向寺・橘樹郡衙の国の史跡に指定を記念したお菓子をつくってはどうか。土産店ができるとうい
- ・川を活かしたまちづくり。小中学校と連携する、子どもたちのふるさとづくり
- ・自然に関われる何かを増やす。子どもと大人が共に楽しめる場所にする、親子体験が重要！
- ・水沢の森は縄文の森でもあるので、専門の看板、竪穴式住居の再現などしてはどうか
- ・土器づくり、火起こし、古代人の食べ物づくり（どんぐり団子など）の縄文イベントを開催する
- ・区境を越えた連携が必要、市民の要望がカギになる
- ・小中学生の自由研究の夏休みツアーを企画する
- ・里山や川のツアー、ボランティア体験を私・公立問わず授業に活かせると良い。ニーズはあるはず
- ・ふるさとづくりは、豊かな遊び場づくり。自然とダイナミックに遊ぶことで、強く優しく育つ
- ・ガイドがあると情報に深みが増す、一人歩きだと素通りしてしまう魅力や景色に気が付かされる
- ・環境をテーマに学生・大人をターゲットにしたエコツーリズムを展開する
- ・全5・6回で「みやまえの自然めぐり講座」を開講する
- ・掲示板でおもしろ豆地域、トリビアなどを発信する



スペシャルパフォーマンス 二胡演奏 畑澤舞奈さん（区内在住）



語り合いカフェと区民会議フォーラム全体会の間の休憩時間に、区内在住の中学生、畑澤舞奈さんによる二胡演奏が披露されました。畑澤さんは中学生ながらも10年以上の演奏歴を持ち、第17回「長江杯」国際音楽コンクールで入選されるなどの実績をもっています。

♪演奏曲目♪

- ① 剣舞
- ② 何日君再来
- ③ 夜来香
- ④ 蘇州夜曲
- ⑤ ソングオブライフ(アンコール)

(4) 区民会議フォーラム全体会

スペシャルパフォーマンスとしての二胡演奏もあった休憩時間の後、最後に全体会を開催しました。

佐々木副委員長、川畑部会長、青柳部会長から区民会議の概要とこれまでの各部会の審議・活動経過の報告、質疑応答の後、宮崎委員長の閉会あいさつで閉会となりました。

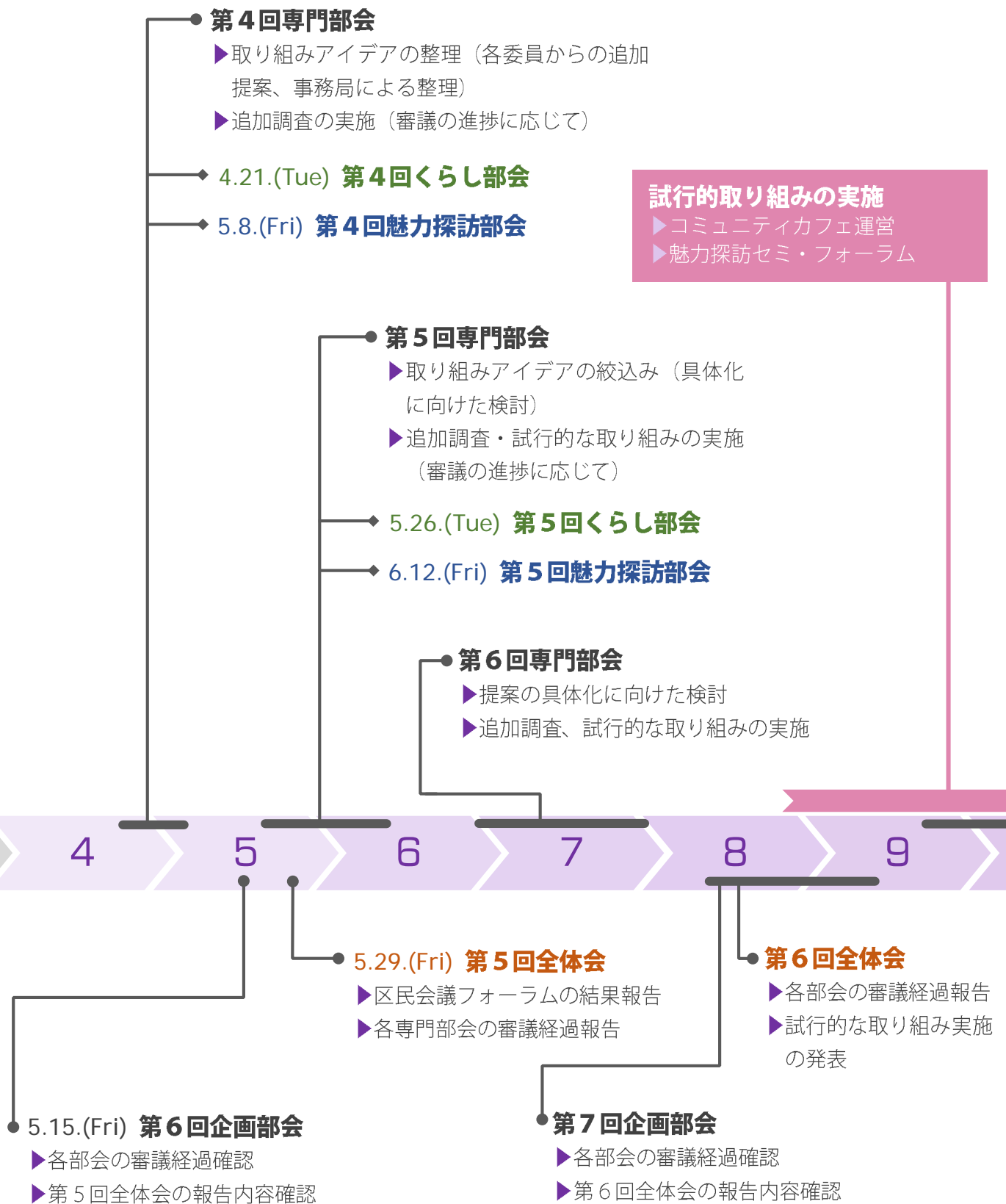
宮前区PRキャラクターの「宮前兄妹」や「カッチャン」も会場に駆けつけ、参加者の皆さんに記念品の「メロー&コスミン特製マグネット」を配りながら、お見送りしました。



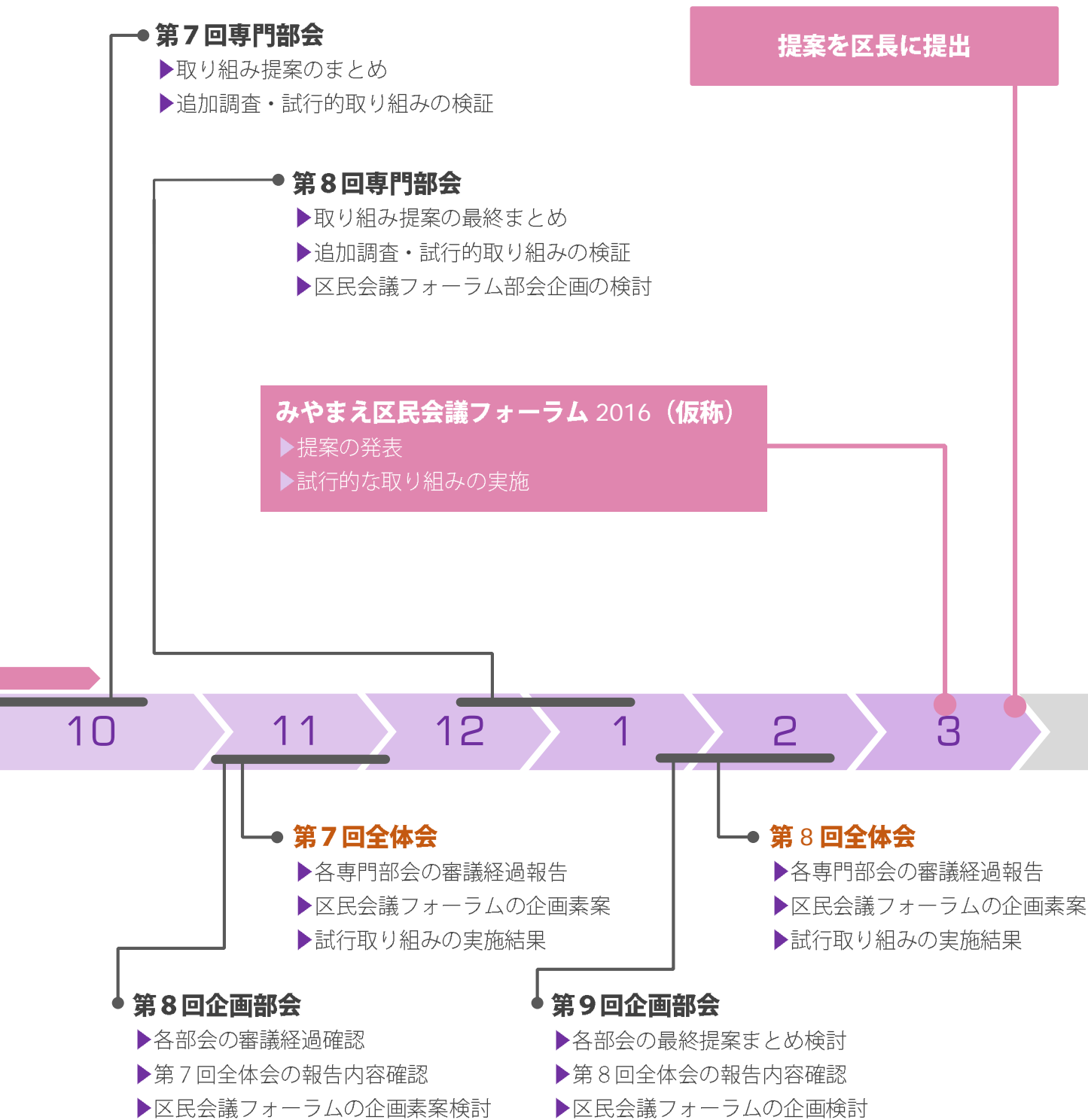
■フォーラム参加者アンケート 自由記入欄等への記載から（一部抜粋）

- ・もっとゆっくりお話したかったです
- ・世代をこえた交流ができた事がよかったです
- ・カフェをオープンしようと計画しているので、土橋カフェの話をお聞きして参考になりました
- ・商店街などもまきこんで、日常生活を送る中で見守る目を増やすことが大切な気がします。
- ・いろんなツアーで宮前区をまわってみたいと思います
- ・小さな子どもからご高齢の方まで、歩いていけるコースを歩いてみたいです。
- ・影向寺、郡衙遺跡、古墳等をトータルで史跡観光としてアピールできれば良いですね！
- ・区の物品、特産品を売るコーナー(常設) がどこかにあると楽しいと思います
- ・町の枠を超えて参加できるようなイベントを企画した方が良い。

2 今年度のおもなスケジュール



第5期の2年目となる平成27年度は、おもに次のようなスケジュールで進めていきます。ただし、審議の経過状況、試行的な取り組みについてはその実施内容や時期により、各スケジュールは変動します。また適宜、各専門部会、企画部会（拡大版を含む）、有志による調査活動などを実施することがあります。



3 審議経過報告① 誰もがくらしやすいまちをめざす部会

(1) 地域課題の解決へ。くらし部会が考える3つの方向性

第4回くらし部会では、開催前に委員それぞれが、地域課題解決のための具体的な提案イメージを考え、4月の専門部会で発表し、議論を交わしました。

その結果、大きく分けて3つの方向性が見出されました。下記はその内容を模式図で表したものです。各委員からの意見などの詳細は、この後のページにまとめています。



地域の居場所（仮称）の形成

- ① ターゲットは元気なひと
- ② 多くの世代が気軽に集い、交流する場
- ③ 地域のつながり、コミュニティづくり
- ④ 地域のアンテナ、見守り、支え合いの場
- ⑤ 介護予防、生きがいづくり
- ⑥ 福祉関係の情報発信



地域包括支援センターの周知

困ったときの相談先、地域ケアの拠点として、
地域の人々への認知度向上が目的



地域による日常生活支援

重度のひとは、専門機関や介護保険事業者へ。
軽度のひとを、地域で支えるために、地域人材を活用

- ① 人材バンク
- ② ネットコミュニティなどの形成



チラシの配置
相談や利用などへの接続



(2) 暮らし部会が考える『地域の居場所 (仮称)』



規模や開催頻度

- 身近な地域単位で (理想は小学校区)
- 飲食やおしゃべり、交流の場として
- 週1、月1、午後のみ、などでもOK
- 次回を予告し、つなげていく



雰囲気・イメージ

- さまざまな形があつていい
- 個人単位で気軽に立ち寄れる雰囲気
- 遊びに行く感覚で、楽しみながら
- 自動販売機と交流スペースだけでもOK



+αの企画

- 興味を惹く仕掛けやイベントを企画
- 地場産野菜の販売、活用、料理教室など
- ウォーキングや地域イベントなどと連携
- 社会貢献など、いきがづくり



運営方法、運営者

- 手作り、等身大、可能なかたちで
- 融資のボランティアでまずはスタート
- 参加者に役割を与え、みんなでつくる。
- 運営側と参加者を区別せず、担い手も育成

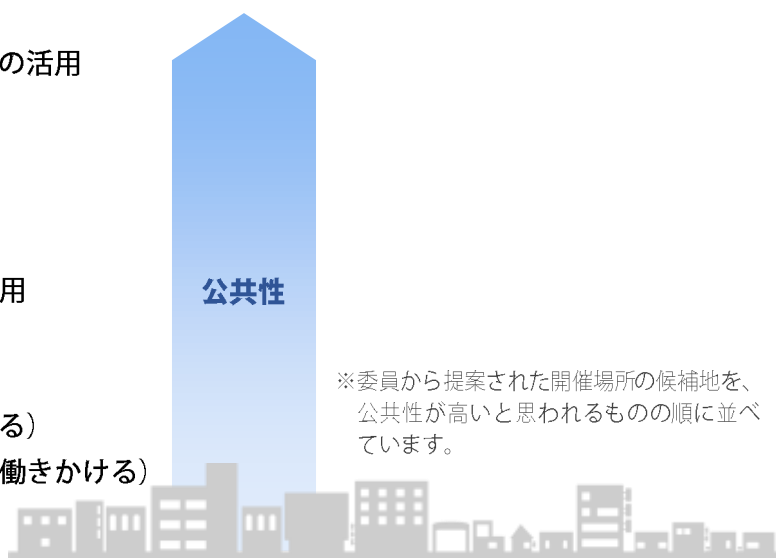
暮らし部会では、「地域の居場所」モデルケースの
実施・提案を目指します

(3) 開催場所の候補

- アリーノ、いこいの家など公共施設の活用
- 特別養護老人ホーム内の地域交流室
- 寺社など
- 農家の畑や敷地内、直売所など
- 有志の個人宅
- 既存の喫茶店など店舗の休業日を活用
- 企業の持つスペースの活用
- コンビニ店舗内のスペースを活用
- 空き店舗の活用 (商店街に働きかける)
- マンションの空き部屋 (オーナーに働きかける)

公共性

※委員から提案された開催場所の候補地を、公共性が高いと思われるものの順に並べています。



(4) 第4回部会での主な意見

第4回くらし部会で交わされた意見から、主なものを要約してまとめました。

■取組提案によって目指すもの

- ・ 多世代が気軽に集い、交流する「地域の居場所」の形成。モデル実施を目指す
- ・ 主ターゲット＝現在は元気な方々。介護予防と共に地域とのつながりづくりを進める。若いうち、元気なうちから地域にアンテナを張っておく
- ・ 中学校区以下、理想は小学校区程度の地域単位で実現させたい
- ・ 専門的支援が必要なケースは、専門施設や公的支援に地域からつなぐ道筋があれば良い
- ・ 地域の役割は日常的な生活支援。インターネットなども活用した地域人材活用の仕組みづくりも検討したい。
- ・ 地域包括支援センターの周知も必要。チラシ配置などで、相談等への道筋を増やす
- ・ 異なる年代で交流（特定の世代だけで集まるのではなく）することも大切

■現状の活動例

- ・ 地域社会福祉協議会の「地域の子ども見守り隊」や「あいさつ運動」など
- ・ 地域の畑の前に自然と高齢者があつまり、元気に交流している
- ・ 民生委員による、引きこもりがちな人へのサロンや食事会への勧誘
- ・ 団地内の一人暮らし高齢者に、高層階から1階の空き室に転居していただいている

■「地域の居場所づくり（仮称）」規模や頻度

- ・ 週1回や月の決まった日の午後という様な形で良い。次回予告でつなげる
- ・ 飲食やおしゃべり・交流の場
- ・ 最初は自販機一台と交流スペースなどミニマムな形でも良い

■「地域の居場所づくり（仮称）」雰囲気やイメージ

- ・ 様々な形があって良い
- ・ 個人単位で立ち寄れる雰囲気（団体利用でなく）が重要
- ・ 担い手を発掘していくことも大事
- ・ 気軽な形。隣の家に遊びに行くような雰囲気づくり。神木「コーヒーの会」が好事例
- ・ 楽しみながらやらなければ続かない。楽しむため周囲を巻き込む

■「地域の居場所づくり（仮称）」運営

- ・ プロ志向でなく等身大で。資金や責任が大きくなると立上げ・継続が難しくなる
- ・ 参加者にも役割を与え、運営側と分けない。みんなで作る場づくり
- ・ 手作り品の持ち寄りも良い。最初から喫茶スペースにする必要はない
- ・ まずはボランティアベースでスタートさせる
- ・ 学校との連携も進めたい。地域がうまく学校に入っていけるようにする
- ・ 公民連携型のモデルケースが欲しい
- ・ 恒常的なものを目指すならば、NPOなど運営の受け皿組織が必要
- ・ まちづくり推進協議会の活動支援の資金提供制度の利用等も検討する

■「地域の居場所づくり（仮称）」+αの企画

- ・ 人を呼び集め、集まった人同士の交流を推進する企画を加える
- ・ 例えば地場産野菜活用の企画であれば、みやまえC級グルメの取組の関係者に声をかける
- ・ 「結果・成果」を求める男性には、社会貢献など生きがいつくりの場も提供したい
- ・ 集客力のあるウォーキングイベント等との連携

■「地域の居場所づくり（仮称）」のモデル実施の候補地

- ・ マンションの空き室の活用。大家さんに働きかけて、可能性を探る
- ・ 稗原小学校のはす向かいの美容院。オーナーが地域カフェの設置を考えている
- ・ 有馬地区でアリーナをもっと活用する
- ・ 企業の持つスペース。区の窓口に子育て支援等の地域貢献の方法を尋ねてくる企業など
- ・ コンビニ店舗内の飲食スペースなどの活用
- ・ 商工会議所等の空き店舗活用事業。ビジネス目的のみ？
- ・ いこいの家。地域の様々な活動に活用されている
- ・ 個人宅や店舗の軒先、屋外でも良い。お金をかけずにこんなのも良いという形を示す
- ・ 農家さんの畑や敷地、直売所…有馬の正果園は地域イベントの開催などもしている
- ・ 既存の喫茶等店舗を休業日に借りる。設備も整っている。店の宣伝や顧客獲得に協力
- ・ 地域の寺社…泉福寺の和尚は元市職員で福祉。寄席やがらくた市などのイベントを境内で開催
- ・ 特別養護老人ホームの地域交流室を活用

4 審議経過報告② みやまえ魅力探訪部会

(1) 地域課題の解決へ。魅力探訪部会が考える3つの方向性

第4回魅力探訪部会も、暮らし部会と同様、開催前に各委員が地域課題解決のための具体的な提案イメージを考え、5月の専門部会で発表し、議論を交わしました。その結果、主に3つの具体的な取組提案のイメージが示され、これについてさらに深く意見を交わしました。



Holiday (ホリデー) ワークショップ開催

- おでかけプラン、おすすめスポットの投稿サイト（スマートフォン対応）
- 運営者（クックパッド）を招いた体験の場
- 区内外への情報発信の体験▶充実をめざす
- 既存の活動団体も招き、担い手育成もねらう



親子をターゲットにした体験・資料の制作

- 自由研究ブック、伝承えほん（教育的な資料として）
- 体験ツアーや講座の開催（読み聞かせイベント、農業収穫体験など）
- 伝承資料の収集
- 既存の団体の経験と知恵、意見を聞く



区内資源の案内標識・解説版の充実

- 交通拠点（駅、バス停）からのアクセス案内
- 資源の魅力や由来の解説
- ガイドの担い手の育成と関連団体などとの連携
- 具体的な形式、設置場所、方法、掲載内容などの検討（既存の活動団体と共に）

(2) 『区民会議セミ・フォーラム（仮称）』の開催

3つの方向性を検討するうえでは、区民会議委員だけではなく、各分野で専門的に活動する団体などの連携は不可欠です。そのことを踏まえて、魅力探訪部会では、「区民会議セミ・フォーラム」の開催を検討しています。

みやまえ区民会議 魅力探訪Semi-Forum（仮称）

① 各分野の専門家を招待し、ともに語り合い、体験する

観光ガイド・歴史分野の団体から・・・体験ツアーや絵本作りの担い手として
魅力資源を管理保全する団体から・・・標識・解説版の設置や活用方法の意見を聞くために

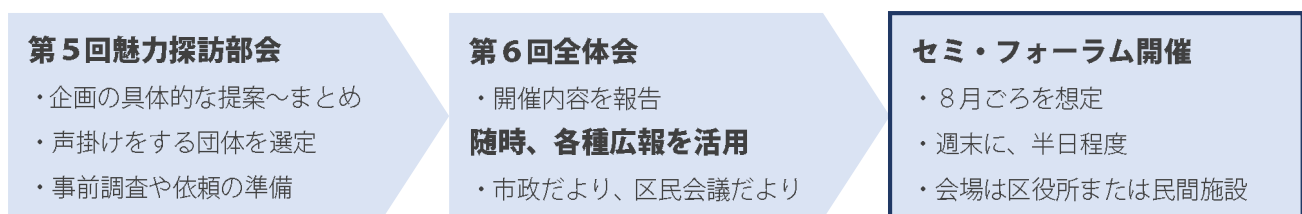
② ホリデーへの投稿体験で、まちの魅力を発信してみる

運営会社から担当者を招き、操作方法から実際にWEBサイトに投稿するまでを体験する
各種団体の参加者にも体験してもらい、団体からの積極的な情報発信の担い手に

③ 親子に魅力的な体験や資料を用意する

地域の伝説や昔話を用意し、自由研究のテーマにも

開催までのスケジュール案



(3) その他の取り組みアイデア

3つの方向性のほかに提案されたアイデアです。3つの具体的取組提案を審議するなかで、これらの提案についても実現性を検討していきます。

- 宮前区の資源などが載っている包装紙の制作、地元店舗などで活用促進
- 宮前区資源のプロモーション映像制作、WEBや公共施設で放映
- みやまえ検定
- 宮前区の名産品で、お土産をプロデュース（コンテストなども）
- 橘樹郡衙の再現画像を制作、各種広報に活用
- 既存の観光ガイド活動の支援

(4) 第4回部会での主な意見

第4回魅力探訪部会で交わされた意見から、主なものを要約してまとめました。

①投稿サイト「Holiday」をツールとしたワークショップの開催

おでかけプラン・お薦めスポットの投稿サイト「Holiday」活用ワークショップの開催

- ・ レシピ投稿サイト「Cookpad」で有名なクックパッド株式会社が提供する無料のサイト
- ・ ネット上の既存画像(店舗ホームページの画像、観光情報などから自動で引用できる)等も活用し、比較的簡単に投稿が可能
- ・ 11月に部会で実施した路線バスツアーのプラン2つを試験的に投稿
- ・ 区内外へ情報発信する手段として。川崎市内の情報投稿がまだ少ないので、今なら目立ちそう
- ・ クックパッド(株)のスタッフが来て、ワークショップ形式で投稿等の体験が可能。2時間程度
- ・ 内輪だけの盛り上がりにならず、区外の人にも魅力的な情報発信が重要
- ・ 投稿形式は誰でも参加しやすく、メンテナンスも簡単で魅力的
- ・ 既存の活動団体に参加してもらうことで担い手育成も狙う
- ・ 魅力に気づかない、狙い通りにいかないこともある。取組を重ねることも重要

②親子・親世代をターゲットとした地域の資源・魅力の資料や体験機会の創出

- ・ 地域の昔話や伝承を、絵本や自由研究ブックなど魅力的な教育資料として編纂
- ・ 親子バスツアー、市民館での講座など体験機会の創出
 - 既存の活動団体にガイドや講師役を依頼
 - 観光は騒音やゴミなどよろこばない人もいるので、地域への配慮も必要
- ・ 読み聞かせイベントの開催
- ・ 伝承資料の収集…市民ミュージアム、大山街道ふるさと館、宮前区歴史文化調査委員会、『有馬小学校15周年記念誌』など
- ・ 農家での収穫体験

③区内の資源の案内標識・解説板の設置

- ・ 鉄道駅やバス停からのアクセスを掲示（アクセスの悪い名所が多い）
- ・ 案内標識、解説板の充実が重要
- ・ 更新も想定し、長期的視野に基づく取組が必要。地域で真剣に内容を考えることも重要
- ・ ここに欲しいという具体提案や情報がまとめられると良い
- ・ 設置場所の検討…バス停、商店街の街路灯等の可能性を調査
- ・ 形式・掲載内容等の件…平瀬川、水沢の森などの事例
- ・ 既存の活動団体の意見・要望調査…宮前観光ガイドの会 宮前区歴史研究会など

その他のアイデア・提案

- ・ 包装紙の制作と活用。区内のお薦めの資源や風景、宮前兄妹などを盛り込む
- ・ お土産プロデュース
- ・ 橘樹郡衙の画像による復元。現状はただの広場なので、イメージしにくい
- ・ 宮前検定 ※区役所では過去に職員を対象にした「みやまえ検定」を作成した
- ・ 既存のガイド団体のサポート、情報提供の一括化等
- ・ まちのプロモーション映像の制作（見て、行きたくなるような動画）
例：うさぎの島 広島県大久野島、YOUTUBEで有名になり、海外からも観光客
広島県観光サイト <http://www.kankou.pref.hiroshima.jp/sys/data?page-id=4304>

■既存の活動団体等を招いたセミ・フォーラムの開催

- ・ ①上記の「Holiday」のワークショップの体験、②親子をターゲットとした取組、③標識・解説板の充実に向けた意見を伺う場、をまとめて実施する場として設定
- ・ 次回部会で企画をまとめ、夏ごろに開催を目標とする
- ・ ①はPC使用可能環境が前提で、使用可能な参加者も必要
- ・ 伺いたい内容はきちんと設計、事前依頼する。団体の長年の経験や知恵を伺う
- ・ 年度末頃には、町内会連合会へ発表の機会を設定し、地域単位の取組につなげたい



第5期宮前区区民会議